

§ 4-2. 生命環境化学科 / Dept. of Life, Environment, and Applied Chemistry

1 ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)

■教育研究上の目的

地球の様々な環境問題が深刻化する今日、環境の管理、保全、改善と修復の基本理念を理解し、物理・化学的、及び生物的アプローチ等の多様な先端技術を用いて、問題を解決する能力を持つ自立した技術者の養成を目的とする。

■修得する知識・能力 (学習・教育到達目標)

A 地球的观点から、環境の管理・保全、修復と創造の基本理念について理解している。
B 資源・環境・安全など、技術の社会および自然に及ぼす影響について理解し、技術者として社会に対する責任を自覚するとともに、自らの行動に反映する能力を身につけている。
C 数学、物理学、化学、生物学など自然科学に関する基礎知識とコンピュータ利用技術（情報処理、数値計算を含む）に関する知識を習得し、さらにそれらを問題解決に応用できる能力を身につけている。
D 物理化学、有機化学、無機化学、分析化学、環境化学、生物化学、食品化学、あるいは、それらの複合領域科目などの専門基礎知識および実験技術の習得と、それらを問題解決に応用できる能力を身につけている。
E 実験・研究などを通して、問題点を発見し、種々の知識、情報を応用して、問題解決に導く構想能力を身につけている。
F 日本語で理論的記述や口頭発表ができ、他の人と意見交換ができる能力と英語でのコミュニケーション基礎能力を身につけている。
G 技術者として、与えられた問題を理性的かつ理論的に分析し、図書や文献のみならず種々の情報媒体から情報を集め、自主的、継続的に自己開発を行う能力を身につけている。
H 与えられた制約の下でも、十分な情報の収集を行い的確な計画を立案・実行し、まとめる能力を身につけている。
I 自己の行動を的確に判断し、他者と協力しながらチームで仕事を遂行する能力を身につけている。